今日の力

2023年6月19日～6月25日

翻訳　　ハイステン・悦子
（スウィーニーキリストの教会）

編集　野口　恵美子

この冊子の聖句は，新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

6月19日（月）

先　ず　は　神　に

聖書朗読　詩篇　103：1～13

そうすれば、人のすべての考えにまさる神の平安が、あなたがたの心と思いをキリスト・イエスにあって、守ってくれます。　　ピリピ　4：7

私たちが人生の中で困難にある時、先ず、その状況について神に祈ることを忘れてしまうかもしれません。私もそうです。まず、友人に電話して話を聞いてもらって、どうしたらいいかアドバイスをもらいます。そして、主人に話してアドバイスをもらいます。その後で、神様以外の全員にその問題について話したことに気づきます。

心の平安は、神にその問題について話す事によってのみ得られます。そこにたどり着くまでに、どうして時間がかかるのでしょう？神に話すとき、創造主である神は、私の話を聞いてくださり、気にかけてくださるという平安が与えられます。神は、私のことをよく知っておられます。神は、私のおかれた状況の最初から最後まで、全てを知っておられます。神は、全能の神でおられます。私は、神にすべての問題を預けることで、大きな安心を得ることができます。神のみが、私の心に平安を与えることができます。

神の答えは、“イエス”である時もあれば、“ノー”である時もあるでしょう。時には神の答えは、“待ちなさい”かもしれません。でも、私たちは、どんなことでも神に祈ることができるのです。神は万能の神であって、どんなことがあっても私たちと共にいてくださいます。

讃美歌　291

祈　り　憐れみ深いお父様、私の願いに耳を傾けてくださってありがとうございます。どうかいつも、私自身からも、私を守ってくださいますように。私があなたを常に信頼することができますように。私たちの祈りを聞いてくださってありがとうございます。イエス様のお名前によってお祈りいたします。アーメン。

テネシー州　コドーバ
ジューディー・キルマー

6月20日（火）

恐れないで感謝しましょう

聖書朗読　詩篇　118

すべての事について、感謝しなさい。これが、キリスト・イエスにあって神があなたがたに望んでおられることです。　　Ⅰテサロニケ5：18

私は主人と、自分たちがやっと大人になったと冗談を言い合いました。私たちは、初めて自分たちだけで感謝祭の食事を用意しました。私たちは、テーブルをセットして、お食事をふるまいました。それは七面鳥を少し焼き過ぎたりして、パーフェクトに出来上がった料理ではありませんでしたが、私たちは食事を楽しみました。皆で七面鳥を囲みながら少し焼きすぎたなあと考えていると、主人が笑いながらこう言いました。“感謝祭は危険だ！”それは、上手く焼けなかった七面鳥のことを揶揄（やゆ）したジョークでしたが。

しかし、私たちが信仰をもって神様にて感謝の祈りをする時には、危険ともとなり合わせです。私たちは、健康診断でのいい結果に感謝したり、成人した子供の就職を飛び上がって喜んだりします。しかし、一方、それらの感謝を止めてしまうと、もしこれから上手く行かなったらどうしようとか、悪い方に考えてしまうことがあります。または、感謝を止めて、実際に本当にうまくいくかどうか、恐る恐る待ってみなければ感謝の祈りはできないと言う行動に出るかもしれません。またある人たちは、何か悪いことが起きるんではないかといつも考えているせいで、神様が用意してくださった感謝の人生を送ることができないでいるかもしれません。

聖書には、神が神でおられるから、神がこれまでにしてくださったこと、神がこれからしてくださることに感謝しなさいと何度も繰り返し書かれています。神は、私たちの誰もが感謝と賛美をもって生きていくことを望んでおられます。躊躇することなしに、感謝しましょう。最終的な結果はわからない時でも、大きなことにも小さなことにも神に感謝しましょう。私たちが神に感謝することに目を向ける時、恐れや心配は消えていきます。

讃美歌　感謝します

祈　り　主よ。わからないことへの不安から、あなたへの賛美を躊躇してしまうかもしれないと告白します。今日、私たちは、あなたという存在、あなたがこれまでにしてくださったこと、これからしてくださることに感謝します。私たちは、今を感謝します。イエス様のお名前によって。アーメン。

テキサス州　フォートワース
サラ・バーンズ

6月21日（水）

ハート形のポケット

聖書朗読　　詩篇　119：1～48

あなたに罪を犯さないため、私は、あなたのことばを心にたくわえました。
詩篇　119：11

私の祖母の趣味は、エプロン作りでした。祖母の作ったエプロンにはどれも、ポケットがありました。祖母はポケットは全てのもの、特にエプロンには必要だと信じていました。私の主人も、ポケットは必要だと信じています。主人は、ペンを入れるポケットのないシャツは着ません。ポケットは、後で必要になるかもしれない物をしまうのに便利です。

私の心にもポケットがあります。私は、後で思い出したい大切な思い出や気持ちを心の中にしまっておきます。心のポケットにしまっておく聖句は、私をサタンのから守ってくれます（マタイ4：10）。心の中に神の御言葉がしまってあれば、私は、一日中いつでもイエスのことを考えることができます。主が近くにいてくださるので、安心していることができます。

イエスの母マリヤは、心のポケットを持っていました。マリヤはイエスに関することを心に納めていました。静かな時に、マリヤは心のポケットからその思い出を取り出して、思いを巡らし、またポケットに納めました。思い出は貴重なものです。

エプロンは以前に比べるとあまり重宝されなくなりました。でも、ポケットはどこにでもあります。この次、何かをポケットにしまう時、立ち止まってキリストに感謝しましょう。

聖　歌　604

祈　り　主よ。あなたに思いを向けさせてくれる小さなポケットのようなものに感謝いたします。イエスのお名前によって。アーメン。

コロラド州　プエブロ
キャロル・ローズ

6月22日（木）

言葉にできない平安

聖書朗読　詩篇　124

キリストの平和が、あなたがたの心を支配するようにしなさい。そのためにこそあなたがたも召されて、一体となったのです。また、感謝の心を持つ人になりなさい。
コロサイ　3：15

平安は、神への完全なる降伏です。平安を言葉で表すことはできません。平安を体験すれば、それが平安であるとわかります。私たちは、平安が心を支配している時、支配していない時、すぐにわかります。

大切な人を失い前に進むことができない時、どうしたら平安を得ることができるのでしょう。配偶者を失った時、子供を失った時、兄弟や姉妹を失った時、深刻な病の宣告を受けた時、どうやったら前に進むことができるのでしょう。怒りにあふれて叫びたい気持ちの時、どうしたら平安を得ることができるのでしょう。平安を得る唯一の方法は、立ち止まって、愛なる憐み深い神に祈ることです。

私たちは、このような困難にある時、ひざまずいて父なる神に祈ることができます。私たちは、力を与えてくださいと、神に助けを求め祈ることができます。深い悲しみにある時でも、神が与えてくださる全ての祝福に感謝することができます。困難を乗り越える力を与えてくださる神に感謝することができます。

その力は父なる神によってのみ、私たちに与えられます。神は、私たちが悲しみの底にある時、愛する人を失い絶望の底にある時、私たちを慰めてくださいます。神は、聞いてくださいます。祈りに応えてくださいます。神は、共にいてくださいます。神の御言葉を求め、神への祈りによって降伏しましょう。

讃美歌　310

祈　り　親愛なる、天の父なる神様。私たちの父親でいてくださってありがとうございます。あなたの光を世に照らす私たちに、平安を与えてください。天のお父様、ありがとうございます。イエス様のお名前によって。アーメン。

テネシー州　コドーバ
ジューディー・キルマー

6月23日（金）

すべては主のもの

聖書朗読　箴言　3：1〜35

心を尽くして主に拠り頼め。自分の悟りにたよるな。あなたの行く所どこにおいても、主を認めよ。そうそれば、主はあなたの道をまっすぐにされる。
箴言　3：5〜6

学生の頃、教授から名前のサインの下に“箴言　3：5-6”と書かれたメモをもらいました。それ以来、この聖句は私にとって大きな意味をもつようになりました。私はこの御言葉のおかげで、人生の旅路の重要な時々で神に拠り頼むことができました。

人生の教訓は、６節では終わりません。次の節にある、私たちの高慢に対する忠告に目を向けてみましょう。“自分を知恵のある者と思うな。主を恐れて、悪から離れよ。”知恵は、神の道を歩むことから生まれます。

私は最近、箴言３章を読み直す中で、この章の大部分が５節から７節に繋がっていることに気づかされました。３章は、心を尽くして主により頼む道への教訓であふれています。

人生は、私のものではありません。人生は、自分の人生と向き合うことによって、主のものとなるのです。

讃美歌　354

祈　り　親愛なる神様。あなたの御意思に従うことのできる、謙遜さを与えてください。あなたのお導きに拠り頼んで人生の旅路を歩んでいくなかで、心を尽くしてあなたを信頼できますように。イエス様のお名前によって。アーメン。

テキサス州　アマリロ
ダニー・マイズ

6月24日（土）

素　晴　ら　し　い　発　見

聖書朗読　イザヤ　6：1〜8

しかし、我に返ったとき彼は、こう言った。“父のところには、パンがあり余っている雇い人が大ぜいいるではないか。それなのに、私はここで、飢え死にしそうだ。”

ルカ　15：17

人間は、この世界のおいて、たくさんの素晴らしい発見をしてきました。火や車輪、印刷機、ポリオのワクチン、レントゲン、電気、発見は他にもたくさんあります。これらの発見は、生活を楽に、楽しいものに変えました。でも、私たちが神をとても必要としていることの発見、打ちのめされた私たちを神がいつでも受け入れてくださるという事実の発見は、比べものになりません。

預言者イザヤは、イザヤ書６章の中で、それを発見しました。イザヤは、主の壮大な御姿、王座、セラフィムを見ました。主を見た後で、（ヨハネ 12：37〜41）イザヤは、こう言いました。“ああ、私はもうだめだ。私はくちびるの汚れた者で。”（5節）イザヤが自分自身の罪に気付いた後で、主は、燃えさかる炭でイザヤのくちびるを触れるために、セラフィムのひとりを送られました。主は、イザヤの不義は取り去られ、罪は許された（7節）と宣言されました。

私たちが自分自身の罪はを発見して、主のもとに来る時、主は私たちの罪を許してくださいます。私たちの罪を許される、神の高さ、深さは何にも比べようがありません。神はまた、私たちが神に罪を許される時、私たちは雪のように白くされ、主への奉仕に用いられることを宣言されました。

讃美歌　主はすばらしい

祈　り　親愛なる主よ。私がありのままの自分を見ることができるように助けてください。私の終わりがどれだけなのか、知らせてください。あなたと私の間にある、どんなことも許してください。日々、あなたを信頼し、あなたに従って生きることができますように。イエス様のお名前によって。アーメン。

テネシー州　ナッシュビル
ポール・デアティー

6月25日（日）

ど　れ　が　一　番　大　事　な　星　？

聖書朗読　ダニエル書　12：1〜4

思慮深い人々は大空の輝きのように輝き、多くの者を義とした者は、世々限りなく、星のようになる。　ダニエル書　12：3

一番大事な星（スター）はどれでしょうか。それは、音楽のスターでも、ムービースターでも、スポーツスターでもありません。レースカーの選手でも、経済学者でもありません。金持ちや、王族でもありません。知事でも、大統領でもありません。国王や王女、王子や王妃でもありません。これらの人たちは、この世にいる間は星、スターであるかもしれませんが、それは永遠に続くものではありません。この世の星は、消えていきます。

神の創造された宇宙の中で、私たちは一番大事な星です。神は、そのために一番大きな代償を支払われました。イエスは、将来を見据えてこう言われました。“そのとき、正しい者たちは、天の父の御国で太陽のように輝きます。耳のあるものは聞きなさい。”

私たちには、私たちの輝きを自慢する権利はありません。しかし、最初に預言者であったダニエルやイザヤを通して現されたように、私たちも続いていく物語の一部なのです。

讃美歌　318

祈　り　親愛なる神様。すべては私たちが星と呼ぶ、太陽を中心として回っているのではなく、神であるあなた、あなたのひとり子、救い主を中心として回っています。この暗闇の世界にあって、イエス・キリストの愛の光を周りに照らしていくことができますように。キリスト様のお名前によって。アーメン。

テキサス州　アマリロ
ダニー・マイズ